

News Release (6)



【平成 28 年 10 月 13 日 (木) 午後 2 時発表】

▼南丹市制10周年記念・文化博物館秋季特別展 『秋野不矩展～創造の美～』

▼概要

秋野不矩（あきのふく 1908～2001）は、明治末期から平成期までの長きにわたって、日本画家として活躍しました。特に、昭和37年（1962）54歳の時にインドの大学に日本画の指導者として招かれたのを機に渡印をかさね、その後、インドの文化・自然・生活などをテーマとして精力的な制作活動を展開します。

昭和55年（1980）からは、南丹市美山町に移住しアトリエを構え、平成13年（2001）に亡くなるまでの20年近くをこの地で過ごしました。

本展は、南丹市制10周年を記念して不矩の初期から晩年に至る作品およびその素描画など約40点を展覧します。日本画の新たな表現領域を拓いた秋野不矩の世界をご覧ください。

【開催期間】 10月22日(土)～11月27日(日)

【開館時間】 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【場 所】 南丹市立文化博物館

【休 館 日】 毎週月曜日

【入 館 料】 大人300円、高・大学生200円、小・中学生100円
（20人以上の団体は2割引、南丹市内在住の小・中学生は無料）

【展示内容】 秋野不矩作品 本画 約25点、素描など 約15点

▼この記事に関するお問い合わせ

南丹市立文化博物館 担当：井尻

（電話 0771-68-0081）

秋野不矩

創造の美



2016年10月22日[土] ~ 11月27日[日]

開館時間 = 午前9時 ~ 午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 = 毎週月曜日

入館料 = 大人 300円 / 高校・大学生 200円 / 小・中学生 100円

※20名以上の団体は2割引 ※南丹市内在住・在校の小・中学生は無料

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳を持つ方とその介護者は半額

※11月19日[土]・20日[日]は「関西文化の日」実施のため常設展示のみ無料(特別展の観覧は上記入館料が必要)

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小椋町63番地 / TEL: 0771 (68) 0081 FAX: 0771 (63) 2983



Nantan City Museum of Culture



森の京都



秋野不矩

～創造の美～

秋野不矩（1908～2001）は、明治末期から平成期までの長きにわたって、日本画家として活躍しました。特に、昭和 37 年（1962）54 歳の時、インドの大学に日本画の指導者として招かれたのを機に渡印をかさね、その後、インドの文化・自然・生活などをテーマとして精力的な制作活動を展開します。

昭和 55 年（1980）からは、京都府北桑田郡美山町（現南丹市美山町）に移住してアトリエを構え、平成 13 年（2001）に亡くなるまでの 20 年近くをこの地で過ごしました。

本展は、南丹市制 10 周年を記念して不矩の初期から晩年に至る作品及びその素描画など約 40 点を展覧します。日本画の新たな表現領域を拓いた秋野不矩の世界を感じていただければ幸いです。



「紅裳」1938年／京都市美術館蔵



「残雪」1996年／南丹市蔵



【交通案内】◆自動車…京都縦貫自動車道「園部 IC」もしくは「八木西 IC」より約 5 分。◆電車・バス…JR 園部駅西口より京阪京都交通バス「八田線」もしくは「園録線」に乗車、「交流会館前」下車すぐ。または、市営ぐるりバスに乗車、「図書館前」下車すぐ。



資料館にも来てや!!



素描「ウダギリ僧房 I」／秋野不矩美術館蔵



素描「MANJUSRI」／秋野不矩美術館蔵

南丹市日吉町郷土資料館 ◆ 平成 28 年度秋季特別展

山里のくらし—材木生産と大堰川水運
2016 年 10 月 8 日 [土] ～ 12 月 4 日 [日]

南丹市日吉町郷土資料館 〒629-0334 京都府南丹市日吉町天若登地谷 7
tel: 0771-68-0069 / fax: 0771-72-1130

- 開館時間 = ① 午前 9 時～午後 5 時 (10 月 8 日～11 月 30 日)
② 午後 10 時～午後 4 時 (12 月 1 日～12 月 4 日)
※①・②いずれも入館は閉館の 30 分前まで
- 休館日 = 毎週火・水曜日 (11 月 23 日 [水] は開館)、11 月 24 日 [木]
- 入館料 = 大人 200 円、高校・大学生 150 円、小・中学生 100 円

【表面】上：「中庭の折り」／京都市美術館蔵、下：「裏町（カルカッタ）」／京都市美術館蔵